

今回は、中学生模擬国連会議スタッフからの報告です。

◇ 第2回中学生模擬国連及び関連イベントを終えて

私が中学3年生の時に参加したこの模擬国連が、2回目にしてここまで発展し、こんなにも地域とのつながりを感じられる大会になるとは思っていませんでした。

私にとって模擬国連との出会いにもなったこの大会に、今回はまるで昔の私のような中学生たちへの話し合いの進行役、議長として携わることができて、とてもうれしく思っています。

今回も前回に引き続く国連カフェという議題でしたが、中学生の準備やポテンシャルの高さに助けられ、深い議論を進めることができました。また、その準備と深い議論こそが今回このような素晴らしい企画につながった大きな理由であると考えています。

今企画では模擬国連が地域とつながって、またさらに模擬国連内でたメニュー案を実際に地域の飲食店や関市観光協会と連携し実際に販売することで模擬国連を通して地域をつなげるという素晴らしい循環を生むことができました。地域という視点は競技模擬国連では味わえない面白さでした。これも、関高がFRH活動を中心として地域に根付いた活動を続けてきたからではないでしょうか。

これからはこの素晴らしい活動を続けていくために、後輩の育成やまた関市や中濃地区の中高生により模擬国連を広めていけるように活動していきたいと思えます。

関高校3年 後藤雅尚



◎今後の展望◎

たったの2人から始まったこの模擬国連という活動が、次々に仲間が増え、結果的には学校内だけに収まらず、たくさんの方々を巻き込むかたちにまで発展したことに、心からの驚きと喜びに溢れています。そして、模擬国連の活動のさらなる発展に向けた、今後の展望について述べさせていただきます。

①地域から世界までの幅広い視野を中学生に持って頂くこと

模擬国連では、食料、人権、宗教、ジェンダーなど様々なグローバルな課題について話し合います。そんな模擬国連を通じて、中学生の皆さんには世界情勢を俯瞰し、さまざまな情報の下、最善の策を新たに生み出す力を身につけてほしいと考えています。

長い月日の中で築かれた国々の関係には、根深く残る歴史的な事実や現状を踏まえた経済の取引など、複雑かつ難解な課題があります。そういったことに触れることで、世界を知り、学びを深め、結果として、よりよいグローバル社会を形成することが可能となると考えています。

また、スケールは異なっていたとしても、地域についても同様に考えられます。ゆえに、模擬国連で培った学びを世界にも地域にも通用させられるグローバルな視野をもって頂きたいです。



②中学生模擬国連が地域間の架け橋になること

今回の活動において、私たちが最も印象的だったことは、地域交流の場ができたことです。7月の第2回中学生模擬国連終了後からこの3月にかけて、地元飲食店の方と地元中学生と共にメニュー実現に向けた活動を行いました。こうした活動の中でも、世間話もまじえて和気あいあいと話す皆さんの姿を見て、地域が発展する理由は、地域間の積極的なコミュニケーションなのではないかと実感しました。

そこで、私たちの活動を活発に行うことで、そういった機会を設ける担い手になりたいと考えています。また、今後は規模を拡大することで、より多くの方々に参加していただき、今までにない地域の輪を広げていきたいです。

イベントの至る所で目にした地域の方々の笑顔と賑わいが絶えることのないように、地域の一員としての誇りを胸に、今後とも尽力させていただきます。

関高校3年 沖館伽良 後藤雅尚

◎感想◎

ご縁があってお誘いを受けるまで、参加はおろか聞いたことすらなかった模擬国連。中学生の議論と同じ大使の立場から盛り上げるという役割を任せさせていただきました。右も左も分からない中での参加でしたが、議長役の2人の支えもあり、無事に役割を果たすことができたのではないかと思います。

準備の段階で、私たち高校生大使は「高校生である私たちが相手に中学生が遠慮なく意見を出してくれるのか」という懸念を抱いていましたが、会議が始まってみるとすぐに、それは杞憂であったと気付きました。全く遠慮することなく、架空でありながらもそれぞれの「国」を背負って大使の仕事を全うする中学生たちに終始圧倒されると同時に、自分たちの準備不足（中学生の準備が予想以上に手の込んだものだったこともあるが）を感じた会議でした。

実際にメニューの販売まで行うことができるとは想像もしていなかったので、その話を伝えていただいた時は本当に驚きました。販売当日は多くの方々に来場していただき、中学生たちはとても楽しそうに接客をしていました。私の弟も彼らと同じ中学2年生ですが、同い年の生徒を見ているとは思えないほどの頼もしさを感じました。

今後は我々加茂高校の生徒も企画や運営に関わり、関市と美濃加茂市の中高生を繋ぐイベントとなっていったらいいと願っています。

最後に、今回のイベントの開催に尽力していただいた全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

加茂高校3年 田中颯星



@写真はいずれも、国連メニューを再現したイベント（はなうたげ・世界の日、2002.3）の様子です。

@模擬国連スタッフは関高生+加茂高生（前頁上段写真）。